

○ 大都市圏の成長を通じた日本の再生

（５）国家戦略特区等を核とした大阪の競争力強化

（内閣府・内閣官房・総務省・財務省・国土交通省・経済産業省・環境省、関係各省庁）

【本市の提案・要望】

- 国家戦略特区等における規制改革メニューの更なる拡充と制度の柔軟な運営
- 国家戦略特区等における法人税の支援措置の延長
- スーパーシティ構想の早期実現に向けた規制・制度改革及び財政措置
- 空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備及び財政措置
- 阪神港の物流機能強化等の取組への支援
- 国際金融都市の実現に向けた支援

【現状・課題】

（国家戦略特区等における規制改革メニューの更なる拡充と制度の柔軟な運営）

- 本市は大胆な規制緩和や税制上の特例措置等を実現する「国家戦略特区」や、企業集積や研究開発の促進、イノベーションを生み出す環境整備等を支援する「国際戦略総合特区」の指定を受けている。国家戦略特区等における規制改革を更に推進するため、規制改革メニューの拡充や、関西圏国家戦略特別区域会議等の**規制改革に係る会議体の柔軟な運営・綿密な連携**が必要である。

（国家戦略特区等における法人税の支援措置の延長）

- 国家戦略特区及び国際戦略総合特区における指定法人等の税制上の支援措置の適用期限が令和 6 年 3 月 31 日までとされている。**特区における産業の国際競争力強化のため、期限の延長**が必要である。

（スーパーシティ構想の早期実現に向けた規制・制度改革及び財政措置）

- 本市は令和 4 年 4 月に「スーパーシティ型国家戦略特区」の指定を受けており、複数分野の先端的服务の提供と大胆な規制改革等により、世界に先駆けて未来の生活を実現することで、住民 QoL と都市競争力の向上をめざしている。**規制・制度改革を一体的・包括的に推進するスーパーシティの趣旨を踏まえ、スーパーシティ構想の早期実現に向けて、国において積極的な取組や予算の確保**が必要である。

（空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備及び財政措置）

- 2025 年大阪・関西万博での「空飛ぶクルマ」の 2 地点間運航の実現や、その先の商用運航の拡大にむけて、「空の移動革命に向けたロードマップ」に基づき、着実に**基準・制度などの環境整備**を行うとともに、社会実装に不可欠な実地での実証実験や社会受容性向上に資する取組をはじめ、**離着陸場などのインフラ整備等に対する財政措置**が必要である。

（阪神港の物流機能強化等の取組への支援）

- 国際コンテナ戦略港湾として国際競争力の継続的な強化に加え、脱炭素化社会の実現に資する港湾の形成が求められている中、阪神港では港勢の拡大を目指し、**港湾施設の整備に必要な予算の確保や万博期間中の物流機能維持の対策への支援、CONPAS を含む AI ターミナルの実現に向けた取組の強化、カーボンニュートラルポート形成のための支援制度の拡充や規制の緩和**などが必要である。
また、国際戦略港湾において行う**集貨事業に対する支援強化や、新たな貨物創出に向けた支援制度の拡充**などが必要である。

（国際金融都市の実現に向けた支援）

- 日本全体の成長力を高めるためには国際競争力を持つ複数の金融都市が必要との認識のもと、大阪府、経済界、民間企業等と連携し、令和4年3月に「国際金融都市 OSAKA 戦略」を策定した。
- 国際金融都市を実現していくためには、国内外の金融系企業等の立地促進やスタートアップの資金調達の一層の促進に向け、国税の軽減の検討など、**更なる税制措置や大胆な規制緩和等**を行うとともに、国内外の金融人材や資金等を集積させる取組に対する財政支援等の拡充が必要である。また、投資環境の整備・充実のため、**金融商品に係る所得課税の損益通算範囲にデリバティブ取引を追加することが必要である。**

担当：経済戦略局、デジタル統括室、大阪港湾局、関係各局

○大阪府・大阪市スーパーシティ構想 データで拡げる“健康といのち”

2023年度～ 夢洲コンストラクション

1. 建設工事現場内外の移動
2. 建設工事及び資材運搬
3. 建設作業員の安全・健康管理



2024年度～ うめきた2期

中核機能のアーマ
ライフデザイン・イノベーション

2025年度 大阪・関西万博

テーマ
いのち輝く未来社会のデザイン
Saver Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちを力づける)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)



住民QoLの向上と
都市競争力の強化を
めざす

輝く未来社会

	フェーズⅠ Before万博		フェーズⅡ With万博		フェーズⅢ After万博
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度～
夢洲 コンストラクション	サービス内容 検討・実証	本格化 サービス実装 (万博関連整備)		万博開催 サービス実装 (万博跡地撤去)	サービス実装 (跡地開発)
大阪・ 関西万博	サービス内容検討・実証			4/13～10/13	大阪市域、 大阪府域へ 展開
うめきた2期	サービス内容検討・実証		まちは先行 整備	サービス実証・提供	全体開業
大阪広域 データ連携基盤 (ORDEN)				スーパーシティにおける活用 (夢洲コンストラクション、OSAKAファストパス(仮称)、うめきた2期など)	

資料：大阪スーパーシティ全体計画（令和4年12月）より抜粋

○空の移動革命社会実装に向けた大阪版ロードマップ（令和4年3月大阪府策定を加工）

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026～29年度	2030年度
1 実証実験に向けた環境整備	1-1 府内での実証実験の支援体制・環境の整備			ローンチ ◆ EXPO2025	実証実施体制・環境の提供／機能拡張	
2 離着陸場の整備	2-1 調査・検討	2-2 設置・構築			設置エリアの拡大	
3 事業環境の整備	3-1 環境整備に向けた調査・検討	3-2 後方支援体制・拠点の検討・整備 3-3 インフラ・データ基盤の検討・整備 3-4 資金調達スキームの検討・構築			後方支援体制・拠点の拡充 インフラ・データ基盤の運用・高度化 スキームの運用・高度化	
4 社会受容性の確保に向けた取組の推進	4-1 調査・コミュニケーション体制・基盤構築	4-2 施策の実施			社会実装を踏まえた施策の高度化	
5 国との連携	5-1 規制・制度／国の役割の明確化に向けた連携				国との継続協議・連携	

○阪神港の物流機能強化

○集貨

- ・ 阪神港の更なる集貨促進に資する国内物流網の維持拡大や機能拡充に必要な予算の確保

○創貨

- ・ 新たな貨物創出に向けた農水産品等の輸出促進事業の創設

○競争力強化

- ・ コンテナ物流の円滑化に寄与する係留施設、道路、臨港鉄道等の整備、夢洲コンテナターミナル拡張に必要な予算の確保
- ・ AIターミナル実現に向け、COMPASシステム導入に向けた支援等
- ・ 阪神港の機能強化に資する連携港湾における港湾施設整備の促進
- ・ 万博期間中の物流機能維持の対策への支援【ターミナルゲート時間延長、咲洲ヘシフト】
- ・ カーボンニュートラルポート（CNP）形成に向けた国の支援強化
 - 「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金制度」（例、荷役機械の購入費用補助等）の拡充
 - 荷役機械（クレーン類）などへの水素・燃料電池等の利活用拡大に向けた規制の見直し（例、船舶用水素ステーションの設置にかかる技術上の基準等の規制緩和等） など

○国際金融都市OSAKA戦略（令和4年3月策定）

戦略の取組期間（イメージ）

2022	2025	2030	2050
国際金融都市 OSAKA戦略策定	短期目標 〔大阪・関西万博開催〕	中期目標	戦略目標年度
始動期・ 第一期活動期	第二期 活動期	新たな金融商品・市場形成や 革新的な金融サービスの開発	金融をテコに 発展する都市 金融の フロントランナー 都市
・ アジア・世界に大阪・関西のビジネス魅力や生活環境等を発信 ・ 「人材・企業・資金」を呼び込むとともに、投資対象となるスタートアップを集積	・ 取組みの深化 ・ SDGs先進都市として、その実践をファイナンス面から推進		